

# グランドピアノ

3号  
2009年1月13日(火)

発行  
米子市公会堂の充実を求める会  
米子市茶町104 米子市民劇場内  
電話 0859-33-8695  
FAX 0859-33-8703

あけましておめでとうございます。今年もよろしくお祈りします。

しばらく動きがにぶっていた会の活動も、今年度はかなり前向きに動かなければと考えています。昨年9月9日に総会を開催し、今後の活動方針を確認しました。本会が皆様のご理解とご協力により、充実した活動が出来ますようお願いをして、グランドピアノ第3号のあいさつとします。



会長 小谷 幸久

## 結成から2年～ 総会を開催しました

創設50周年を迎える米子市公会堂。2006年4月、唐突に「公会堂の存・廃」が新聞紙上に登場しました。それを受けて同年9月「米子市公会堂の充実を求める会」を立ち上げ、息の長い運動を展開しています。

2008年9月現在、会員数37団体(所属会員約2000名)、315名の個人会員を擁する「求める会」の総会を9月9日に開催しました。

## 【公会堂の存続を求めて(活動報告)】

主な活動として、会員(組織)の拡大と公会堂の存続を求めるための取り組みをしてきました。「存廃」の根拠、公会堂が置かれている状況を確認することを始め、米子市(市長、教育文化課)、市議会議員へ要請、公会堂の施設現状を知るための「公会堂をもっと知ろう会」、「市民と行政の協働を考える講演会」など開催しました。成果としては、市当局より当面維持「公会堂は当面、施設設備の補修を行い機能の維持に努める」と回答を得たこと。しかし、存続か否かについては、「今後のあり方については、調査・検討していく。まずは、耐震強度の調査をしてから」との回答を得たものの、耐震調査は2007年、8年と2年連続予算化されませんでした。

### 活動の反省

- ・動きが鈍った背景・要因として耐震強度調査待ちの体制に終始したこと
- ・緊急の事態(廃止になるとか)に迫られなかったことも待ちの姿勢につながったこと
- ・最大の課題としては、充実に向けての具体的な内容をイメージとして作り出せなかったこと

## 【新年度の活動方針】

- ・「公共建築百選」の一つ、米子市公会堂は、改修しながら、現役ホールとして使用していくことを基本に考える
- ・中心市街地に位置する地の利を生かした、人の集う複合施設としての再生を考える
- ・商店街、自治会、中心市街地活性化協議会などの団体と連携しながら、運動の拡大を目指していく

基本的な考えをもとに、具体的な柱、文章化については、総会後に行う。意見を聞いたり、具体的な調査を進める中で充実の中身を具体化・イメージ化していく。

## 【会計報告】 以下の報告がされ確認されました。

(収入の部)		
科目	決算	内訳
会費	428,000	37×3,000 317×1,000
繰り越し	400,975	芸術ホール活動残金カンパ
雑収入	791	預金利息
合計	829,766	

収入	支出	残高	
829,766	559,403	270,363	次期年度へ

支出の部		
科目	決算	内訳
会議費	25,790	幹事会
総会費	15,000	総会
通信費	95,820	切手・はがき
資料費	159,675	印刷費・コピー代 講演会DVD
事務用品費	27,977	事務用品
活動費	230,334	もっと知ろう会・講演会
盗難被害	4,807	盗難被害
合計	559,403	

盗難被害は現金 67,147 円  
(会費 44,000 円・小口現金 23,147 円)  
が昨年12月14日盗難被害にあいました。事務局を置いている米子市民劇場と労音で掛けていた火災保険から盗難被害の補償が支給され、その中から 62,340 円が米子市公会堂を  
求める会へ  
被害補填されました。最終的に盗難被害額は 4,807 円です。

## 【総会の開催と、会計年度について】

2009年の総会からは5月頃行う。会計年度は3月末とし、2008年度会費(2009年3月まで)を早急に集める。

## 【その他、検討課題として残されたこと】

会員について・企業会員について、総会后検討していく

## 【役員、幹事について】

新年度役員、幹事が提案され、確認。団体会員を増やす中で、幹事の増員も図る。

事務局次長1名の空席については、総会後の幹事会に委託され、岩崎り子(マンドリンクラブ)さんを選出、確認(12月24日幹事会)。

## 【新役員】

会長/小谷幸久 副会長/畠山和子 事務局長/田中智子 事務局長次長/山本庸子・岩崎り子  
幹事/大西昭彦・山口研一・西村修一・池田明弘・吉野立・米原真吾・小磯保弘・本田祐美子・八木広幸・熊谷昌彦・加藤洋子・松本朋子・塚田謙介・仁田浩司・福島多暉夫・池田侑子・江田孝・石田健博・伊東江美子・八田頼明・渡辺肇山・柳瀬和子・和田守生・清水泰  
顧問/友松 康雄 会計監査/鷲見浩司

「米子市公会堂の充実を求める会」の総会後の活動状況

- 10 / 2 第1回幹事会
- 10 / 6 組織部会
- 10 / 9 「伯耆の文化創造を考える会」に参加。「米子市中心市街地活性化事業」の取り組みの中に「公会堂問題」を組み込んでもらう。  
以後(10/29・11/14・12/11・12/22 開催)
- 10 / 11 広報渉外部会
- 10 / 22 調査部会
- 11 / 14 野坂市長表敬訪問 **平成21年度耐震調査実施を確約**
- 11 / 27 「米子市中心市街地活性化協議会」が野坂市長に問題提起(小谷同席)
- 11 / 30 1月「米子市政討論会」中海TV「米子市の文化振興」(小谷出演)
- 12 / 17 「伯耆の文化創造を考える会」が八幡候補に問題提起(小谷同席)
- 12 / 19 「伯耆の文化創造を考える会」が上場候補に問題提起(小谷・岩崎同席)
- 12 / 24 第2回幹事会

**野坂米子市長**

**平成21年度耐震調査実施を確約**

「米子市公会堂の充実を求める会」6名で2008年11月14日野坂市長を表敬訪問しました。その席で市長から平成21年度に耐震調査を必ず実施するとの返事をもらいました。

また、小谷会長の質問に対して米子市中心市街地活性化事業(国の認定事業で助成金が出る)にとって米子市公会堂は当然必要な施設であるとの返事ももらいました。中心市街地活性化の取り組みにも「米子市公会堂の充実を求める会」として積極的に参加していきましょう。

米子市公会堂の充実を求める会で11/14に野坂市長を表敬訪問したときに、野坂市長が「平成21年度耐震調査実施を確約」を明言されたことは大きな成果でした。更に4月の市長選に立候補予定者の八幡・上場両候補とも「公会堂」は重要な公共物と位置づけているので大切にしたいと表明しておられます。「米子市中心市街地活性化協議会」が1月21日(水)に「米子市中心市街地活性化フォーラム」を企画され、文化団体の積極的な参加を呼びかけて米子市公会堂で開催されます。(チラシを同封)います。第2回の幹事会で「充実を求める会」も積極的に参加することを決定しましたので、万障繰り合わせ参加いただきますようお願いいたします。

米子市公会堂の充実を求める会 ~市民と行政の協働を考える~  
福嶋浩彦氏を招いて 2008年6月26日

## 「市民の自治と公共ホール」講演会報告

**講演会で元気を!**

2006年8月から2年間活動をしてこれからの方向、活動をしていくために元気をもらおうと、2008年総会を前に、米子市出身で前千葉県我孫子市長の福嶋浩彦氏を招いて「市民の自治と公共ホール」と題しての講演会を開催しました。

**参加者300名、マリンバとクラリネットの音色に酔いしれる**

この日の参加者は約300名で講演会の前に地元で活動をしている本郷良枝さん遠藤小百合さん松本幸恵さん藍田月子さんに演奏していただきました。公会堂の音の響き、ホールの素晴らしさを参加者のみなさんは感じられたようです。

**市民も自治の力を高めよう**

福嶋さんの講演は、「地方自治」「市民自治」について語ることから始まりました。

地方の行政は国と違って、直接民主制が基本であること。日常的な市民の直接参加、市長、議会、三者の緊張関係が大切で、市民の自立した活動が行政の下支えであり、市民自身も自治の力を高めていかなければならない。地域に豊かな自治を創造していくためには、民も官も改革しながら連携していくことが必要。と三期十二年の市長として市政を改革されてきた考え方、実践を話されました。

米子市公会堂の問題については、公共ホールは単なる箱物ではない。町創りの拠点になる開かれた場所であり、文化政策を作り発信していく場所でもある。米子市公会堂はまさに「自治と文化の殿堂」といえるのではないかと。

具体的な財源づくりの例をしめしながら終始一貫して強調された「意見の違う人たち、利害関係の異なる人たちと話し合い、自ら合意を作り出していくこと」の重要性を訴えられました。会場からの質問に答えて、行政が一方的に公共ホールを廃止することは出来ないと明言された一方で、「公会堂を豊かに使っていく」ために、私たちに知性、行動力、具体性を求める講演であったと思います。

福嶋さんの講演会に参加された方々からは、違う立場の人たちとの話し合いを実現させていく必要性、募金活動、署名活動の提案。公会堂を大切に存続させていけるよう頑張りましょう等の意見が寄せられました。

9月9日(火)に開催した総会で今後の活動の方向性、取り組みを確認しました。この講演会で寄せられた意見を今後の活動に活かしていきたいと思っています。



**米子市中心市街地活性化フォーラム**  
**参加ご案内**

1月21日(水)18時00分から、米子市公会堂において、「米子市中心市街地活性化フォーラム～生活充実都市の顔づくり～共に語ろう!米子のにぎわい再生と将来像!」を開催します。

米子市の賑わい再生と将来像について、米子市長、地元若手経営者、青森のまちづくりアドバイザーによる対談を行います。ぜひお出かけ下さい。

**1 日時及び会場**

- 日 時 平成21年1月21日(水)  
午後5時30分開場  
午後6時開演～9時閉会
- 会 場 米子市公会堂大ホール

**2 参加料** 入場無料

**3 プログラム**

- 基調講演/官民連携のまちづくり～お金が無くてもまちは変わる～ 午後6時  
講師:加藤 博(青森市あきんど隊 隊長、中小企業基盤整備機構まちづくりサポーター)
- 対 談 午後7時  
コーディネーター 山崎 洋二氏  
(中小企業基盤整備機構中心市街地サポートマネージャー)

**出 演 者**

- 野坂 康夫氏(米子市長)
- 加藤 博氏(中小企業基盤整備機構まちづくりサポーター)
- 石賀 治彦氏(まちづくり会社(株)法勝寺町代表取締役)

**4 申込先**

米子市中心市街地活性化協議会

- ファックス 0859-22-1897
- 電子メール tmgt@yonago-chukatsu.jp

**会員継続のお願い**



平成20年9月9日に開催の遅れていた総会を開き、平成21年度以降の取り組み目標が決定されました。会の目標達成のために力を合わせて取り組んでいきましょう。

会の趣旨に賛同されて平成19年度・20年度の会員になられた方、引き続き平成21年度も会員継続をしていただくようご案内いたします。

既に会員継続の手続きを終えられた方には、行き違いがあったこととなりますが、ご了承ください。

